

＜日本科学者会議福井支部 11 月例会＞

「新自由主義の帰結」

＜内容＞

1970 年のスタグフレーションの中で戦後資本主義は行き詰まった。この行き詰まりを解決すると称して、登場したのが新自由主義である。新自由主義に基づく制度と政策はアメリカ（とイギリス）を復活させたと思われていた。しかし、実際に新自由主義が作り出したものは、格差とワーキング・プアーであり、世界に広がる金融危機であった。これまで信じ込まされていた新自由主義の思い込みの誤りを正す。（講演者より）

日時:11 月 25 日(月)18 時 30 分—20 時 30 分

場所:福井大学教育地域科学部 1 号館 1 階 12 講義室

講師:服部茂幸氏(福井県立大学経済学部教授・経済学)

参加費:無料

＜連絡先＞

日本科学者会議福井支部事務局

〒910-8507 福井市文京 3-9-1

福井大学大学院教育学研究科 森透研究室

電話・ファックス 0776-27-8725

e-mail: t-mori@u-fukui.ac.jp